



第34期生徒会役員の皆さん

## 新年のご挨拶

理事長 成瀬 輝一

## 2019 1月号

### Highlights

- ・新生徒会の役員が決定しました！
- ・昨年に続き、多くの小学生が受験！
- ・WYSH授業、とても有意義でした！
- ・iPadの配布が行われました！

明けましておめでとうございます。 年始は四日に中学の入学試験、二八〇名を越す受験生が戦い、四月には輝く新入生を迎えます。 そして十八日は三学期の始業式、あわただしく過ぎました。 そして十九日、二十日はセンターテスト。 早朝の男子寮前広場、樟友会から贈られた『岩田魂!』の横断幕の下、出陣エールが響き、学園全体の出発式が行われました。 この試験に向かう生徒さんたちは、緊張の中にも皆明るく頼もしい。 この若者たちが日本の将来を担うのだと実感する時です。 いよいよ今年は平成の最後。 思うに、岩田の平成三十年間は改革続きでした。 男子校から共学へ、高大連携APUコースの開設、今年度スタートのICT教育等々。 これに伴い、校舎の増改築や設備の充実を続け、キャンパスの環境を整備して参りました。 学園の教育目標“社会に有為な人材を育てる”を実践するためです。

遅しい樟樹に囲まれた冬のキャンパスに、いずれ春が訪れます。 教育には時間がかかります。 岩田のモットー『ゆっくり急げ』です。

本年も引き続き、ご指導ご支援をお願い申しあげます。

理事長 成瀬 輝一



## 新年のご挨拶

理事長 成瀬 輝一

## 第34期生徒会の紹介

## 31年度岩田中高入試について

事務局長 工藤 紀次

## 生徒指導部より

生徒指導主任 野村 哲也

## 特活より～部活の報告～

特活主任 川元 戒彦

## 保健室より(WYSH)

野村 めぐみ

## APU・立命館コース TOPICS

## 大分市議会議員との交流会を実施

iPadの配布が行われました

## 寄付金募集のお知らせ

1

2

3

4

5

6

7

8

# 学園だより

## 生徒会発足の紹介

11月14日生徒会長選挙で次期生徒会長が決定しました。その後、各専門委員会の委員長・副委員長を決めるため、生徒会長と生徒会顧問、学年主任立ち会いの下、面談を行い、委員長・副委員長が内定。そして12月10日に認証式を経て、第34期生徒会組織が発足しました。

これから生徒会長を中心に、これまでの生徒会が行ってきた活動や新たな活動を積極的に行い、挑戦心を持って、今まで以上に岩田中学校・高等学校を盛り上げ発展させていってくれることを期待します。

### ◆第33期生徒会長 白石 真之輔くん

一年間、任期を全うできることをうれしく思います。執行部をはじめとする32回生に支えられ、今に至ることができました。

全校生徒の協力と特活主任川元先生、生徒会顧問上久保先生をはじめとする先生方のご助言には感謝してもしきれません。ありがとうございました。  
第34期生徒会の活躍に大いに期待しています。

### ◆第34期生徒会長 松本 悠杜くん

## 生徒会顧問 伊東 英陽

生徒会長としての責任と自覚を持つて、1年間やり遂げます。今年の生徒会も、すごく活気があつて頼りになるメンバーなので、とても心強いです。

岩田生のみんなが一度きりの学校生活を楽しめるよう、全力を尽くしたいと思います。これまで先輩方が築いてきた伝統を大切にしながら、新しいことにも挑戦していきたいです!学校全体で岩田を盛り上げていきましょう!

1年間頑張りますので、よろしくお願ひします。

生徒会長	松本 悠杜	
副会長	立川 希光	佐藤 明南
庶務	江藤 新	南 莉子
体育委員	長 小山田 希丞	副 中野 遥菜
美化委員	長 麻生 光真	副 古井 りか
広報委員	長 神志那 優汰	副 谷脇 優華
図書委員	長 都留 朋子	副 森田 春香
文化委員	長 青木 桃子	副 山崎 千晴
ボランティア委員	長 馬渡 怜那	副 松本 結衣
保健委員	長 川野 希実	副 森 陸翔
生活委員	長 衛藤 麗	副 今吉 楓



↑生徒会役員認証式の様子

## 平成31年度岩田中高入試について

平成31年度岩田中学校入学試験は、従来までの専願入試と一般入試の区別を撤廃して、1月4日（金）に実施されました。年末年始とやや冷え込みが続き、入試当日も気温は低かったものの晴天の入試日となり、トラブルなく終了することができました。

1月6日（日）の合格発表時は、学園内の合格者掲示板の前に多くの受験生や保護者が集まり、喜びの声を上げたり、記念撮影をしたりという合格発表らしい光景が見られました。

本年度の岩田中学校入学試験志願者数は280名で、大分県内からの出願者が269名、大分県外からの出願者が11名でした。県外志願者の増加により、志願者数は昨年度の272名より8名増加しました。

合格者数は、211名でした。合格者の平均点は、右の表のとおりです。

各教科の合格者平均点の前年度比は、国語が-4.5点、算数も-4.6点でやや難となりました。算数の平均点は、ここ数年で一番低くなりました。理科では-1.1点下がり、社会は逆に+3.5点と上がりました。合計では昨年より一

6.7点下がりました。

合格者の合計点は平成27年度から連続して下がっており、平成27年度と比較すると、実に38.7点も低くなっています。難化が続いているようです。

一方、合格者最低点は、昨年度の152点から111点上がって163点となりました。合否のライン付近では、一点を競う厳しい状況だったようです。

岩田高等学校APU・立命館コースの入学試験は昨年の11月5日（月）の帰国子女入試からスタートしており、既にソウル、シンガポール、香港、ミャンマー、マニラ日本人学校からの帰国子女5名の合格が決まっています。5年前から海外子女教育振興財団主催のアジア地区日本人学校説明会ツアーに参加しているため、徐々に帰国子女の志願者が増えてきています。

1月16日（水）には、推薦入試を実施しました。推薦入試の志願者は昨年より1名少ない13名でしたが、成績は申し分なく、全員合格となりました。

今後、1月31日（木）の一般・前期入試、3月21日（木）の一般・後期入試と続きます。

## 事務局長 工藤 紀次

帰国子女の入学者は例年並みを予測し、海外からの留学生の受け入れを含めると、国際感覚を磨くに相応しいクラスとなりそうです。帰国子女や留学生が集まっているのは、コースの魅力と共に生徒寮の存在も大きいと思われます。

寮生活では、生活習慣のみならず学習習慣も身につき、自立に非常に有効と言われております。

生徒寮では、随時入寮受付を行っております。通学生の皆さん、寮生活を体験してみては如何でしょうか。

### 【平成31年度中学入試結果】

#### 中学校 受験者数

志願者数	280 名
合格者数	211 名

#### 中学合格者平均点

国語	68.9 点
算数	57.0 点
理科	39.2 点
社会	37.7 点
合計	202.8 点

合格者最低点	163 点
--------	-------



## 生徒指導部より

## 生徒指導主任 野村 哲也

1月28日（月）から30日（水）の3日間で、中学1年生～高校2年生を対象に大分市消防局による「救急救命講習」を受講します。日常の当たり前の生活を送る中で突然遭遇してしまうかもしれない命の危険がある場面。そのような場面でも正しい対応が冷静に出来るよう、学校全体としてしっかりと学んでいきたいと思います。ご家庭でも、どのような体験をしたのか、是非お子様から話を聞いてみて下さい。

突然死は、一般的に急性心停止、急性心不全または特別な外因が見当たらない頭蓋内出血等が直接死因とされた病死です。突然死を防ぐためには、緊急時の対応を理解していることが大切です。スポーツ中だったり、胸に衝撃が加わったときに起こる致死性の不整脈として起こ

りますが、その場に常に医療従事者がいるとはかぎりません。救急車が着くまでの間、その場に遭遇した人ができること、それが「救急蘇生法」です。一般市民が行う救急蘇生法には、「一時救命処置」と簡単な「ファーストエイド」があります。

「一時救命処置」は、傷病者の呼吸と循環をサポートする一連の手技で、胸骨圧迫と人工呼吸による心肺蘇生とAEDによる電気ショックに加え、吐物などによる窒息への気道異物除去も含まれます。誰もがすぐに行うことができる手技であり、傷病者の救命、社会復帰に大きく貢献します。

「ファーストエイド」は、急な病気やケガをした人を助けるためにとる最初の行

動のこと、熱中症への対応や応急止血などが含まれます。特にスポーツの場面では容態の急変が目撃されるケースが多いため、救急蘇生法をいち早く始めることで命を守ることができます。

大分県では救急車を要請してから現場に救急隊が到着するまで平均約8分を要しています。

心停止に陥った人が8分間何も処置をされなかった場合、その後処置が施されても救命の可能性は約10%にすぎません。しかし、その場に居た人が適切な対応をすると救命の可能性は2倍以上になると報告されています。

## ●大切な命を守る4つのバトンリレー

### 現場での対応

### 医療機関



# 12月～1月 部活の報告

特活主任 川元威彦

Page 4

## ●高校テニス部

### ★冬季大会選手権大会予選

#### 【男子シングルス予選】

パート決勝進出：清家

予選突破：鶴岡、佐藤 ※免除：大石

#### 【男子ダブルス予選】

パート決勝進出：清家&林下

※免除：大石&鶴岡

#### 【女子シングルス予選】

2回戦進出：南

パート決勝進出：米村

予選突破：石田

#### 【女子ダブルス予選】

2回戦進出：米村&石田

### 【女子シングルス本戦】 1回戦敗退：石田

### 【男子ダブルス本戦】

2回戦進出：大石&鶴岡(ベスト16)

### 【男子シングルス本戦】

1回戦敗退：佐藤、鶴岡

3回戦進出：大石(ベスト16)

小雨が降り続く日もあった3日間の予選。成長の跡がみられる大会に。年明けの本戦でもベストを尽した試合になりました。努力を重ね、春の県総体に向けて練習に取り組んでほしいと思います。(顧問：堀・川元)

## ●女子サッカー部

### ★大分県女子フットサルーグ (後期)

岩田 1-7 玖珠 岩田 0-25 ケイオーラ

岩田 0-1 グラーロ

経験者に挑んだ結果惨敗となりましたが、サッカーの原理・原則である攻撃と守備の局面は体に宿ってきた感じも。自分対ボール、練習で本気になる！を頭に入れてスタートしてくれる事を期待します。(顧問：野村哲)

## ●中学&高校剣道部

### ★大分市剣道選手権大会

【中学2年】2回戦進出：田形

3回戦進出：佐々木(ベスト8)

優勝：内田

【中学3年】優勝：武内

【高校1年】2回戦進出：神志那

初めて2部門で優勝することができました。全員が良い内容で、優勝した2名は集中を切らさず闘志溢れる試合運び。高2の紅棋はこの試合をもって引退します。剣道で培った闘志で目標に向け邁進してくれる事を期待します。(顧問：阿部順)

## ●高校囲碁・将棋部

### ★大分県高文連将棋専門部

冬季将棋錬成大会および段級位認定大会

【Aクラス】酒見真人：3勝1敗(初段認定)

【Bクラス】工藤周真：4勝1敗(二級認定)

参加者総数80名の今大会では、棋力に応じて、3クラスでのスイスクールが行われました。最終局まで緊張感を絶やさず力を出し切り、他校選手との交流する場面も見られ、高校時代の貴重な体験が得られたようでした。(引率：矢野浩)

## ●家庭部

### ★高文連家庭専門部研究作品コンクール

【調理・製菓部門】優良賞：喜野、横田 調理60分、片付けを含め70分の時間制限の中で行いました。いつももオーブンとは勝手が違い、焼き時間に苦戦しましたが、最後まで緊張感を絶やさず力を出し切りました。他校の試食会もあり、調理技術の向上や、廃棄率削減などへの気づきが得られ、貴重な体験となりました。(顧問：須田)

## ●ギター部(管楽班)

### ★大分県アンサンブルコンテスト

銀賞：古賀、梅田、豊田

他校が高2中心の選抜メンバーや校内予選を勝ち抜いたグループで参加する中、高1と中3で臨みました。普段しないミスもありましたが、緊張感のある良いアンサンブルを見せてくれました。音色では勝負になると実感できた反面、テクニックで差を感じる大会でした。(顧問：八木)

## 伝統の絆 OB&OG会

### ★バスケットボール部 (12月29日)

恒例のOBOG戦を行いました。卒業生16回生～29回生16名が参加して、高校vsOBOG戦と中学紅白戦を行いました。男子は、OBの圧倒的なスピードとパワーに苦しみ、先輩方の偉しさを身をもって感じました。女子は、OGが一番楽しそうにプレーしていました。久々に再会した仲間と和気藹々とプレーする姿はどちらも楽しくなりました。試合後1年の活動への感謝を込めて、全員で体育館周辺、体育館内、部室、女子更衣室などを大掃除しました。たくさんの方々が参加してくれたことに感謝し、今年も『勝つ資格のあるチーム、応援されるチーム』となれるよう活動していきます。(顧問：牧野)

### ★剣道部 (12月28日)

今年も五名のOBが稽古会に参加してくれました。現役との試合では白熱した試合が繰り広げられ、地稽古では先輩方の助言を真剣に聞く現役の姿が印象的でした。今後も人と人とのつながりを大切にして、精進していくことが大切だと実感しています。(顧問：阿部優)

### ★テニス部 (12月30日)

OB&OG戦が今年も12/30(日)に行われました。現役部員は中3から10月に引退した高2までが対象で、卒業生は、22回生(1名)・23回生(4名)・25回生(2名)・26回

生(1名)・30回生(6名)の合計14名が集まってくれました。(筋肉痛を覚悟して)年に一度この時にテニスをします！という卒業生や、各学年で高校時代以上にテニスをしている卒業生も。和気藹々と、時には真剣勝負にこだわって、交流を深めつつテニスを楽しみました。(顧問：川元)

### ★野球部 (12月29日)

年末恒例のOB戦が行われました。OB15名現役14名の計29名が集まり、現役vsOBの試合はOBが年の功を見せ勝利。その後、今年も6回生古谷君から野球部Tシャツ(赤・紺)がプレゼントされ、恒例のチーム古谷とチーム辰口(6回生)に分かれて二試合目。結果は昨年に続きチーム古谷の勝利。好・珍プレーあり、楽しい中にも真剣な勝負あり、今年も充実したOB戦だったと思います。(辰口)

### ★サッカー部 (1月3日)

毎年恒例の初蹴りが行われ、40人程のOBOGが集まってくれました。OBがバテる前に現役とがチの試合をすることになり、50分間の熱い戦いを繰り広げました。その後男子はサッカー、女子はフットサルに分かれてOBOGを混ぜて交流戦を行いました。最年少の36回生に対して最年長は13回生という、世代を超えた交流が行われており、サッカー部の歴史を感じることができました。35歳を越えて元気に走って



くれるOBたちに本当に感謝です。汗をかいた後は全員で校内の清掃をして終わりました。(顧問：野村哲)

2学期末に32回生WYSH授業を実施しましたので報告させて頂きます。

テーマ：大切にする

内容：妊娠・出産・育児

今回、初めてタブレットを使用してのWYSH授業となりました。クイズ形式で中3時の復習をし、育児疑似体験では、保護者の方々から頂いた育児エピソードを元に作ったお題に「実際に自分が保護者の立場だったらどうする？」という視点で各グループ意見を出してもらいました。最後に保護者の方より頂いたメッセージを一部紹介させて頂いた際は、涙を流しながら聞いているお子様もあり、大変有意義な2時間となりました。

ご協力頂いた保護者の皆様、本当にありがとうございました。

### 育児体験(グループワーク)

成長段階で様々な困難にぶつかったとき  
父親・母親として、  
どんな気持ちになるのか?  
どんなフォローができるのか?  
を真剣に考えてみてください。

●必ずひとり意見は記入

<生徒感想文>

♥妊娠・出産の大変さがわかり、自分を産んでくれた親に感謝の気持ちでいっぱいになりました。親・自分を支えてくれた人への感謝の気持ちを忘れず、今度は自分が親にできることをしていきたいです。そして、もし自分が親の立場になったとき、子どもにたくさんの愛情をそそげる人になりたいです。



♥いざ、親の立場になって我が子のことを考えると、悩む事って数えきれないくらいたくさんあるんだなと思った。多く

のことには悩まされながらもこの17年間育ててくれた親には本当に感謝しかないです。最近は些細なことでさえすぐケンカになってしまいけど、そんな中でも私が生きていることにありがたく思ってくれるなんて嬉しいすぎる。最後のお母さんたちのメッセージのときは涙がとまりませんでした。私を産んでここまで育ててくれて本当にありがとうございます。これから多くの壁にぶつかりますが、応援よろしくお願いします。大好きです。



♥私は何かうまくいかないとき、何もかも嫌になってやめてしまいたいと感じることもありました。でもたくさんの奇跡とたくさんの愛で、今元気に毎日過ごすことができているんだとあらためて感じて、心があたたかくなったり。すごく、パパとママに会いたくなったり。今もう高校生なのにずっと心配してくれて、そんなに心配しなくてもいいのに！と感じることもあったけど、今すぐにありがとうございます。たくさんの人を大切に、幸せにできるような人になりたいです。



♥出産・子育ての大変さや母の強さなどを改めて実感した。これまで17年間自分を健康に不自由なく育ててくれた両親に感謝し、これからも一緒に乗り越えていきたい。結婚したことなど考えたことがなかったのでこの機会を基にもう少し先のことまで意識してみようと思った。名前をつけるとき本当に何と名付けようか全く思い浮かばなかったので、両

親があれこれ考えた末につけてくれたこの名前をずっと大切にしていきたい。



♥初めてこんなに真面目に親の気持ちを考えた。授業中、何回か親のことを思い出した。私は何も覚えていないけど、どんな小さな当たり前のことも親にとって大事な思い出だったんだとやっと今日わかった。たまにすごく怒られて生まれてくる家間違えたと思うこともあるけど、ここに生まれてきてよかった。



♥僕もこれから大人していくのですが、もし、子どもに恵まれたら、ぼくが今まで大切に親に育てられてきたように、がんばって、日々、希望をもって生きるような子どもに育てていけたらいいなあと思います。とても将来が楽しみです！



# 学園だより



## APU・立命館コース TOPICS

### ◆全国高校生英語ディベート大会へ出場

先月号で紹介いたしましたように、10月に開催された大分県高校生英語ディベート大会において本校APU・立命館コース5-4が優勝。これを受けて12月15・16日に、福井県にある福井工業大学にて行われた全国高校生英語ディベート大会に大分県代表として出場しました。

出場メンバーはいずれも5年4組の杉本 隆くん、關 まこさん、武生 愛理さん、前田 悠成くん、森田 彩渝さん、リヤ オウドムチャリヤ（リヤ）さんの6名です。

予選では5試合を行い、試合結果は以下の通りでした。

岩田 2-0 高崎女子（群馬）

岩田 0-2 会津学鳳（福島）

岩田 0-2 水戸第一（茨城）

岩田 0-2 金沢泉丘（石川）

岩田 0-2 帯広柏陽（北海道）

の1勝4敗で、残念ながら決勝トーナメントには進めませんでした。

大分県大会では優勝しましたが、全国の壁はまだまだ高く課題もたくさん発見することができました。ハードスケジュールで緊張した試合が続くなか、生徒は精神的にも疲れたはずです。しかし、全国の強豪との試合を通して、生徒たちは大いに成長できたものと思います。

これからもAPUコース全体で更に上を目指してがんばります。



### ◆留学生ダビドくんが全国高校生弁論大会に

ドイツからの留学生であるDavid Menzel（ダビド）くんが、12月6日（木）・7日（金）に中津市で開催された「福澤諭吉記念 第57回全国高等学校弁論大会」に参加しました。

審査対象ではなく招待での参加でしたが、堂々とした弁論を披露し、聴衆から大きな拍手を受けました。

この大会には北海道から沖縄まで高校生が28名参加しており、前日の交流会では他の高校生と有意義な時間を過ごしました。彼にとっては、日本でのたいへん貴重な経験になったものと思います。



センター初日  
見送りのひとコマ





## 大分市議会議員との意見交換会が行われました

生徒会顧問 上久保 晃

大分市議会議員15名と学校代表として今回高校1年・2年新旧生徒会役員39名が出席し、12月19日〔水〕の16:00~17:30まで本校で行われました。この意見交換会は若年層の政治参加意識を喚起するという目的で、大分市議会事務局が中心となり行われている活動で本校では平成28年にも開催されています。

会ではまず「議会のしくみ」などの説明が事務局から行われた後、市議会議員と生徒が6グループに分かれ意見交換を行いました。積極的な質問や意見が生徒側から出されるだろうかとの心配

もありましたが、生徒からは様々な内容についての質問や意見（地震などの災害対策・公共図書館や商業施設での自習室問題・大分駅周辺の土地開発・バリアフリー・ごみ問題・消費税の動向など）が出されていました。生徒にとってはとても有意義な意見交換会であったと思います。

なお、この意見交流会の様子は、大分市が発行する「おおいた市議会だより 180号」にも掲載されます。



## ICT本格導入へ ~ iPadの配布が行われました ~

来年度からの本格的ICT化に向けて、在校生へのiPadの配布が学年ごとに行われました。

今年度の3学期は、来年度に向けての試用期間という位置づけとなっています。授業をはじめとした学校現場での有効な活用法を探り、また、より良い利用のためのルールづくりに向けて教員・生徒ともに多くの経験を積んでいきたいと考えます。

現代は日々技術革新が進み、様々な分野で情報機器を活用した効率化が図られています。しかし一方ではいわゆる“スマホ依存”が社会問題化して久しく、さらにはSNSの不適切使用や情報機器を悪用した違法・犯罪行為などが発生していることも事実です。このような状況の中、私たちは、情報機器を子どもたちから遠ざけるのではなく、正しい使い方を身につけさせる道を

選択しました。

生徒が常にiPadを手にする状況に対して、少なからぬ保護者が不安を覚えていることと存じます。「うちの子どもにとって、勉学の妨げにならないだろうか?」「これで本当に学習効率が高まるの?」等々…。しかし世のICT化の流れは確実に進んでいます。今、この手中にある便利な“道具”を子どもたちの限りない可能性を引き出す手段のひとつに位置付けて欲しいと思います。また、iPadをはじめとする情報機器の使い方について、ご家庭で子どもさんと話し合う場を是非もっていただきたいと存じます。

学校としても、ICTの活用状況やその成果について、「学園だより」をはじめとする様々な機会を通して、保護者の皆様への情報発信に努めてまいります。



寒くなって参りました。いよいよ受験シーズンの到来です。高3のみなさん！体調管理をしっかりして、ベストコンディションで受験してください！応援しますよ。

## 2019年度 センター試験 出発の様子 (1/19)



↑白石 前生徒会長からのエール



↑力強い演舞で精一杯の激励

## ギター部第17回定期演奏会

【日時】2月10日(日)

13:00開場 13:30開演

【場所】平和市民公園能楽堂

\*ギター班による独奏・小合奏・大合奏、管楽班のアンサンブルと多彩なプログラムです。お忙しいとは思いますが、ぜひご来場下さい。

## 寄付金募集のお知らせ

学校法人 岩田学園

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。さて、平成30年度及び31年度において、生徒の教育環境整備として、以下の大型事業を実施いたします。

- 教育用ICT機器及び設備の導入(全普通教室大型モニター設置、Wi-Fi環境整備等)
- 5号館及び1号館の空調設備更新
- 男子寮屋根防水工事

いずれの事業も多額の事業費の発生を伴いますが、より良い教育環境を提供できるものと考え、実施いたします。保護者様にはiPad購入等のご負担をいたたいておりますが、合わせて寄付金についてもお願いを申し上げる次第です。

今後も引き続きご理解とご協力をいただけますよう、お願ひいたします。

### 学校法人岩田学園 寄付金募集要項

#### 1. 寄付金の募集目的及び使途

- ◇目的 学校の教育研究用施設設備の拡充並びに教育研究の維持向上を図るため。
- ◇使途 (1) 教育研究用の施設設備の整備及び取得費に使用します。  
(2) 教育研究に要する経常経費に使用します。

#### 2. 寄付金募集について

- ◇募集目標額 年間700万円
- ◇募集区域 特に定めず全国からとします。
- ◇募集対象 在校生の保護者、卒業生、本校教職員及び学園の趣旨に賛同いただける方
- ◇募集開始 ただし、学校の入学に関する寄付金は除きます。
- ◇寄付金額 平成22年 2月 1日より随時受け入れています。
- 一口1万円 可能であれば複数口をお願いします。

#### 3. 応募・納入方法

- ◇応募方法 別紙「学校法人岩田学園 寄付申込書」にご記入いただき、事務室へご提出ください。
- ◇納入方法 ①寄付金専用の「郵便払込用紙」又は「銀行振込用紙」にて振り込み  
②学校事務室へ寄付申込書を添えて現金にて納入

#### 4. 寄付金に対する税法上の取り扱いについて

学校法人岩田学園は国の定める「特定公益増進法人」であり、当学園に対する寄付金については、個人の場合、確定申告をすることにより所得税の一定の控除が受けられます。

◇寄付金にかかる控除額（「税額控除制度」を利用した場合）  
寄付金額の40%に相当する額が所得税額から控除されます。

■控除額の計算：(その年に支出した寄付金額 - 2千円) × 40% = 所得税控除額  
※控除対象となる寄付金額は、その年の総所得金額等の40%が上限となります。

#### 5. 寄付金についての問い合わせ先

学校法人岩田学園 事務室 Tel:097-558-3007

<http://iwata.ed.jp/>

ホームページやブログでCheck!

能力の差は小さいが  
努力の差は大きい

脚力尽くる時、山更に好し。  
輝ける未来へ、全力でサポートします！



January 2019

大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp



21世紀の有為な人材を育成する  
岩田中学校・高等学校